

苦手だからわかる事があるのです

秋晴の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。今月のお題は、「苦手だからわかる事があるのです。」でいきます。



代表取締役社長 吉田治伸

私は、今年で51才になりますが、この人生の大半を苦手で好きじゃない事を行っています。大学では、電気科でしたが全く電気の事がわからず、13年のサラリーマン時代は、一度も希望する部署にいけませんでした。当社でも売上の多くを占める清掃は、私の最も苦手な事の一つです。社長という仕事でも得意なはずがありません。

そんな私ですが、お陰で身についた事があります。それは、苦手で好きじゃない事を好きになる方法です。これは、達人の域であると自負しております。それを皆様に伝授します。

一つは、「楽しそうなふり」をする事。これは、一番大事であります。つらそうに行ったら、まず、気の毒に思われ、下手したら「馬鹿にされ」すらされます。楽しそうなふりをすれば、喜ばれ、これまた下手をすると「尊敬」すらされます。最後には、本当に楽しくなってしまう事もあります。

2つ目は、まわりから「ほめられる」事を意識した行動をとる事。仕事をしてうれしい事の一つは、自分と接した人から感謝されたり、ほめられたりする事だと思えます。これは、案外簡単で、笑顔、挨拶、お手伝い、素早く・・・だけでも、必死でやれば感動していただける事もあります。やはり、人から感謝される事は怒られるより100倍楽しいのであります。

「もともと得意で好きな事ばかりしていたら気づかないかもしれないなあ」と思います。

残暑はまだまだ厳しいようですがご自愛下さい。